

御伽草子の表記体系(一)

崎村, 弘文
鹿児島大学講師

<https://doi.org/10.15017/10516>

出版情報 : 文献探究. 9, pp.46-59, 1981-12-15. 文献探究の会
バージョン :
権利関係 :



御伽草子の表記体系（一）

崎村弘文

本稿において筆者は、広義に云う御伽草子のうち比較的早い時期に成立したと見られる、いわゆる八奈良絵本^注若干を取り上げ、その本文の表記体系について考察してみたいと思う。

周知の如く、八奈良絵本^注が作られた室町時代から江戸時代初期にかけての一時期は、国語音韻史上、注目すべき一群の変化が起った「移行期」の一つであり、外国資料を駆使した先学諸氏の研究によつて、その具体的状況をかなり詳細に知ることができるとは、一方、そうした変化に伴つて生じるはずの仮名表記の動搖・混乱といったことについては、従来、開合表記の混乱など一部の事象を取り扱った研究が見られるのみで、必ずしも十分に説明されていなかったのが実情である。

したがって、今後その実態を明らかにすることが、国語表記史を跡づける上で重要な意味を持つものと思われるが、その際、八奈良絵本^注を含む広義の御伽草子は、質的・量的にすぐれた資料として問題の解明に役立ってくれるものようである。

今回の考察は、ほんの手初めにすぎないが、こうした調査・考察を積み重ねることによつて、「当時における仮名表記の一般的傾向（いわば八中世仮名遣い^注とでも呼ぶべきもの、およびその崩壊）」といったところにまで近づくことができれば幸いに思う。

諸賢の御批正御教示を乞う次第である。

【注】

1 『天理善本叢書』8・古奈良絵本集一』、『同37・古奈良絵本集二』に収められた計14篇を云う。今回は紙幅の関係上、後者に収められた『花鳥風月物語』、『熊野の本地』、『しづか』の3篇に関する調査結果を示すにとどめる。

なお、ここに云う「成立」は書写の成立であつて、内容そのものの成立を指すものではない。

2 筆者は、さきに、古今伝受関係の資料である『延五秘抄』について今回と同様の調査を行つたことがある（本誌3・5・6・8参照）が、同書はいわゆる抄物の一種であり、興味深い表実態を持つものの、先行文献よりの書風が懸念されて、その解釈に苦しむことが少なくなかつた。御伽草子の場合、そうした懸念がかなり少なくてすむ点、高く評価することができ、なお、量的な点に関しては、横山重・松本隆信編『室町時代物語大成』等参照のこと。

なお、各資料の表記実態を示すには、次の順序による。

- (1) 四つ仮名の表記（じ・ぢ・ず・づの順）
- (2) オ段長音の開合の表記（au系・ou系・cu系の順）
- (3) 連母音・ウ段拗長音の表記
- (4) 合拗音の表記
- (5) ハ行転呼音の表記
- (6) 語頭の [i] [e] [o] の表記
- (7) その他

① 『花鳥風月物語』

(1) 四つ仮名の表記

かたしけなく（忝）2 くんし（郡司）1 けんし（源氏）17
しちいち（日域）1 しゆしやくるん（朱雀院）2 しゆんわ
（淳和）1 しんきやう（神鏡）1 しんしう（神秀）1 し
んしち（真実）1 しんへん（神変）1 しんむ（神武）1 し
太しやう（太政）3 太しん（大臣）4 たんしやう（誕生）
1 たんしやく（短冊）1 はしめ（始・初）4 むつまし（
睦）1 らんしや（蘭麝）1
※（ ）内は、表記された語の意味を示すため、筆者が私に付す
もの。数字は表記例の数を示す。なお、助詞等でこれに關わる
ものは省略したが、それ以外は、あえて掲げるまでもないと思
われるもの（例えば、連濁に關わるもの等）も、全容を明らか

にする意味のできるだけ取り上げることにした。

あさちふ（浅茅生）1 あはちしま（治部）1 ちや
うくはん（貞観）1 ちよくせ（濁世）1 はち（恥）1 ひ
ちかさ雨（肘笠雨）1 ふち（藤）5 ふちはら（藤原）1
もみち3
かす（敷）8 きす（疵）1 さたかす（貞敷）1 しやうす
（上手）1
あつさ（粹）4 あつま（東）1 あなつり（侮）1 いく
2 いなつま（おつる（怖 or 落？）1 かしつく（傳）1
かつら（蔓）2 きつな（絆）2 さへつり（しつミ（沈）
1 たつね（尋）20 つく（統）1 はつかし（恥）4 ま
つ（先）6 ミつのお（水尾）1 めつらかなる（ゆつり（
謙）1 よろつり

(2) 開合の表記

あほうきう（阿房宮）1 あふき（扇）5 いきりやう（生霊）
1 おしやう（和尚）1 かうい（更衣）1 かうはし
かうらいこく（高麗國）1 きやう（卿）2 きやう（鏡）1
きやうけんきまよ（狂言綺語）1 きやうさう（鏡像）1 き
やうりき（行か）1 こんしやう（今上）1 さいしやう（罪
障）3 さう（左右）1 さうにん（相人）1 さうろん（争
論）3 しやう（生）1 しやう（姓）1 しやうかい（生涯）
1 しやうこ（上古）1 しやう三才（正三位）1 しやう
す（貫す）1 しやうす（上手）2 上らう（上臈）1 十き

やう(十鏡) 1 ナリやう(十両) 1 シリやう(死霊) 1
 しんきやう(神鏡) 4 しんわう(親王) 1 せうしやう(少
 将) 2 せつしやう(摂政) 2 そうきようろく(宗鏡録) 1
 たいしやう(大将) 2 太しやう(太政) 4 たう(唐) 1
 たしやう(多生) 2 たんしやう(誕生) 1 ちうしやう(中
 将) 1 ちやうくはん(貞観) 1 ちやうもん(聴聞) 1 て
 いわう(帝王) 1 てんちやう(天長) 1 てんわう(天皇)
 7 にまいきやう(ニ枚鏡) 1 にんみやう(仁明) 3 ねう
 はう(女房) 1 ひやうふきやう(兵部卿) 1 ふさう(無双
) 1 ほんなぶ(煩惱) 1 まうけ(儲) 1 ミやうきやう(明
 鏡) 1 ミやうふ(命婦) 1 むしやう(無上) 1 もんた
 う(問答) 2 やう(様) 8 やうくん(養君) 1 やうせ
 い(陽成) 1 やうめい(永明) 1
 一とう(一等) 1 いもうと(妹) 4 くちおほひ(口覆) 1
 くはうこう(広劫) 1 けうほう(教法) 1 こうきてん(弘
 徽殿) 1 こうくはい(後悔) 1 こうはい(紅梅) 1 三ほ
 う(三皇) 1 そうきやうろく(宗鏡録) 1 そう太しやう太
 しん(贈太政大臣) 1 たいこうきう(太后宮) 1 たいそ
 う(太宗) 1 とうくう(東宮) 1 とうなん(童男) 1 によ
 うるん(女院) 1 にようこ(女御) 1 にようほう(女房)
 1 ほうひ(褒美) 1 ようかん(容顏) 1
 かれうひんか(迎陵頻伽) 1 けうしゆ(教主) 1 けうほう
 (教法) 1 けふ(今日) 1 せうしやう(少将) 2 ちふの

せう(治部少輔) 1 てう(朝) 2 1 てう(策) 7 てうて
 い(朝庭) 1 てんせう大しん(天照大神) 1 まんえう(万
 葉) 1 一けう(一興) 1 けうく(恐懼) 1 せうふ(勝負
) 1 ねうこ(女御) 1 ねうほう(女房) 1
 (3) 山連母音・拗長音の表記
 あさちふ(浅茅生) 1 しうしん(執心) 1 よもきふ(蓬生
) 1 あはうきう(阿房宮) 1 たいこうきう(太后宮) 1
 ちうくう(中宮) 1 ちうしやう(中将) 1 ちうなこん(中
 納言) 4
 ぶんちう(円融) 1 ゆふかほ(夕顔) 1 ゆふきり(夕霧)
 2 ゆふやみ(夕闇) 1 たゆふ(大夫) 1 ゆうれい(幽
) 1 ゆうれい(ヶ) 1

(4) 合拗音の表記

いくはう(威光) 1 くはうこう(広劫) 1 くはうてい(黄
 帝) 1 くはこ(過去) 1 くはんけい(元慶) 1 くはんは
 く(閑白) 1 こうくはい(後悔) 1 御くはい(御誨) 1
 しくはん(止観) 1 しんむくはうてい(神武皇帝) 1 たん
 くは(丹花) 1 ちやうくはん(貞観) 1

(5) ハ行転呼音の表記

あハ、(合) 5 あハちしま 1 あはれ(哀) 2 あらハす
 あらハなる 1 あらハれ 8 いたはし(痛) 1 いは、(云)
 2 うけ給ハリ 4 うらなはせ(占) 1 おハする(在) 3
 おもはる、(思) 5 かしハ木(柏木) 1 かにハら(傍) 1

かはきぬ(皮衣) 1 かハす(交) 1 かハリ(代) 1 きハ
 め(極) 1 くハしく 2 くるハん(狂) 1 さぞハれ(誘)
 1 さハく(騒) 2 候は 1 3 すなハち 1 たハふれ 1 た
 まハ 1 (給) 3 つきぞハん(付添) 1 ては(出羽) 2 と
 ハ 1 (間) 1 ならハぬ(習) 1 ねかハくハ(願) 1 のた
 まハ 1 は 1 (母) 8 は 1 きき(帚木) 2 ほうは 1 (私
) 1 よハリ(弱) 1 わらハ(妾) 3 はきはら(萩原
) 1 ふちはら(藤原) 1
 あひ 1 (合・逢) 2 あひく(相) 3 あひた(間) 1 あふ
 ひ(葵) 3 あらぞひ 2 いひ(云) 5 うたかひ 1 うたひ
 (謡・称讃) 2 うやまひ 1 うらつたひ(浦伝) 2 うらな
 ひ 3 おもひ(思) 17 かひ(効) 1 うちおほひ(口覆) 3
 こひしき(恋) 1 そひ(添) 2 たとひ(仮令) 1 給ひは
 ちかひ(違) 1 つかひ(使) 1 とひ(問) 2 とひて(問
 手) 1 とふらひ(訪・弔) 4 にほひ(匂) 3 の給ひ 3
 はらひ(祓) 1 ふるまひ 1 まよひ(迷) 1 やまひ(病)
 1 (なお、ちいさき(小) 1 まい人(舞人) 1 くるな(水
 鶏) 1 すまる(住) 2 つるに(終) 2 また、もちい(用
) 1)
 あさちふ(浅茅生) 1 あふき(扇) 6 あふひ(葵) 3 い
 ふ(云) 3 おふ(負) 2 おもふ 5 かよふ 1 けふ(今日
) 1 たとふ(譬) 1 たまふ 16 とふ(訪・問) 2 にほふ
 1 の給ふ 2 よもきふ(蓬生) 1 ゆふかほ(夕顔) 2 ゆ

ふきり(夕霧) 2 ゆふやみ(夕闇) 1 (なお、いもうと 4
 こまうと(高麗人) 1)
 あへす(堪) 1 いにしへ 3 うへ(上) 8 うへの(上野
) 1 うちかへし(打返) 1 をしかへし(押返) 1 をしへ
 (教) 1 をみなへし 1 おもへし(思) 2 かへされ(返)
 5 かまへて(構) 2 こたへ(答) 2 候へ 1 13 へさへ 3
 さへつり(轉) 1 したかへ(従) 1 ぞへ(添) 2 たかへ
 (違) 3 たとへ(譬) 1 給へ 9 つかへ(仕) 1 つたへ
 (伝) 1 とへ(訪) 1 の給へは 1 はたへ(肌) 1 ひる
 かへし 1 まへ(前) 3 むかへ(迎) 1 (なお、いゑ
 (家々) 1 ゆくゑ(行方) 1)
 あさかほ(桔梗) 1 うしほ(潮) 1 おほきなる(大) 1
 おほければ(多) 1 おほせらるゝ(仰) 5 おもほえず 1
 かほ(顔) 3 かほる(薫) 1 うちおほひ(口覆) 3 たか
 しほ(高潮) 1 ほのほ(炎) 1 ゆふかほ(夕顔) 2 (な
 お、いとをし(愛) 1 すきとをり(逢通) 1 とをく(遠)
 1 とをらし(通) 1 なを(猶) 11 なをし(直衣) 1)
 cf.
 あひねん(愛念) 4 あひへつりく(愛別離苦) 1 おひたる
 (老) 1 おとゝひ(妹姉) 2 (語中句、イ表記正例 50 11 う
 ち、和語例 1 「おい(老)」 11、平表記正例 3 11 和語例 3 11、
 平をイに誤れるもの 6 11 「まいり(参) 5 11 「もちい(用) 1
 1 11)

ぼんなんふ(煩惱)ー 中ふれい(幽霊)ー (正表記例についでは、上記(2)(3)(4)参照)
 うへける(植)ー 中へ(故)5 (語中[じ], エ表記正例12、エ表記正例11)
 (語中[wo], ヲ表記正例3)

(6) 語頭の[じ][wo]の表記

いなか(田舎)ー (イ表記正例104 和語例101 11、エ表記正例9 和語例11)
 (エ表記正例10 和語例3 11、エ表記正例11 和語例なし 11)
 おきふし(起伏)ー おく(奥)ー おそれ(恐)ー おそろしき(々)2 おつろ(怖・or落?)ー おとし(落)ー おと、ひ(妹姉)2 おとらす(劣)ー おに(鬼)ー おにひとくち(鬼一口)ー おハする(在)3 おひ(生)ー おふ(負)2 おほきなる(大)ー おほければ(多)ー おほしめし(思召)ー おほせらる、(仰)4 くちおほひ(口覆)3 おほろ(朧)2 おもしろき4 おもて(面・表)2 おもはゆく(面映)ー おもふ29 おもほえず(山)おろしー おかし(可興)ー おかミ(拝)ー おしやう(和尚)ー おとこ(男)2 おりしき(折敷)2 おりふしー ほねおりー ミつのお(水尾)ー
 をしへ(教)ー をとめ2 をの(小野)3 をミなへしー をんなー みをつくしー をきぬ(置)3 をくり物(贈物)ー をくる(遅)2 をしかへし(押返)ー をしなへて(押

② 『熊野の本地』

(1) 四つ仮名の表記

いみしき2 きおんしやうしや(祇園精舎)6 ぐわんしやう(勧請)1 しみ(慈悲)1 しゃうし(障子)1 しゃうしん(精進)1 しゃうせつ(淨刹)1 しゃうと(浄土)1 1 しゃう(城)2 せうしやう(証誠)1 せうしん(小人)1 せんし(宜旨)2 大しん(大臣)4 たんしき(断食)1 とうし(童子)1 しまり(始・初)1 2 はしめ(々)3 ひしり(聖)4 ましわり(交)3 むしやう(無常)1 1 もし(文字)ー わうし(王子)5 18 わうしやう(往生)1
 あちわひ(味)ー おち(伯父)1 1 てんちく(天空)2 ち(藤)1 1 ふちしろ(藤代)1 1 むち(無地)1 1 山ち(山路)1 1 よみち(黄泉路)1 1
 かす(教)2 2
 いかた2 うつミ(埋)1 1 かせつき(傳)1 1 かつき(被)1 1 さつけ(授)1 1 しつか(静)1 1 たつね(尋)2 1 つゝ(宛)2 まつ(先)2 1 身つから3 1 ミつのお(水尾)1 1 中つり(謙)1 2 よろつ1 3 申候はんつるへき1

(2) 開合の表記

あくたう(悪道) 1下 あくわう(悪王) 8 1下 あんやう(安養) 1下
 かうふり(蒙) 1 1下 かうへ(頭) 1 きおんしやうし
 や(祇園精舎) 6 きやう(経) 1下 きやうかう(行幸) 2
 くきやう(公卿) 3 1下 くやう(供養) 1 1下 くわんしやう(勸請) 1下
 けうやう(孝養) 1 1下 こんかう(金剛) 1下 さう
 (左右) 1 さうし(草子) 2下 さうにん(相人) 3 さたう
 (茶湯) 1下 セしやう(七生) 1 しやうし(障子) 1下 しや
 うじ(請) 1 1下 しやうしん(精進) 1 しやうせつ(淨刹) 1下
 しやうと(浄土) 1下 しやう人(上人) 1下 しやうらふ(上臈) 1下
 しやうれん(青蓮) 1下 しやう(城) 4下 しゆき
 やう(修行) 2下 しゆしやう(衆生) 1下 しんわう(親王) 4下
 せうしやうてん(証誠殿) 3下 せんわう(善王) 2 せう(僧) 1下
 たうしやう(堂上) 1下 たうそく(道俗) 1下 たうと(唐土) 1
 たんしやう(誕生) 1 ちやうもん(聴聞) 1下 つ
 かうまつる(仕) 1 にうたう(入道) 1下 ほう(方 or 房?) 2 1下
 ほけきやう 1下 まふけ(儲) 1 むしやう(無常) 1下
 やう(様) 12 10下 やう(漸々) 1下 らうそく(蠟燭) 1
 りしやう(利生) 1下 りやうし(領) 1下 りやう所(兩所) 2下
 わう(王) 11 11下 わうし(王子) 6 17下 わうしやう(往生) 1下
 おうかみ(狼) 1下 おうきに(大) 1下 せつほう(説法) 5下
 そうし(奏) 1 1下 ちんほう(珍宝) 1 1下 とうくう(東宮) 2
 とうし(童子) 1下 とうたい(同体) 1 1下 とうめう(等妙) 1下
 にようこ(女御) 1 ふつほう(仏法) 1下 ほう(法) 1下 ほ

うし(奉) 1下
 けふ(今日) 1 3下 けうやう(孝養) 1 1下 せうしん(小人) 1下
 てうおん(朝恩) 1 1下 とうめう(等妙) 1下 せうしやうてん(証誠殿) 2下
 ねうこ(女御) 4 1下 ねうほう(女房) 2 1下
 (3) 連母音・拗長音の表記
 にうたう(入道) 1 1下 りうし(流死) 1
 (拗長音の例なし)
 (4) 合拗音の表記
 くわいにん(懷妊) 1 くわんしやう(勸請) 1下 くわんおん
 (観音) 3 1下 くわんぞん(眷族) 1
 くゑんそく(眷族) 1
 (5) 八行転呼音の表記
 あはれ(哀) 2 4下 あらはれん 2下 いたはし(痛) 1 いはや
 (岩屋) 1下 うけたまはり 1 1下 うしなはん(失) 1 おハしま
 し 9 9下 おはり(終) 2下 かなはぬ(叶) 1 1下 かハラて(変)
 1下 きらハす(嫌) 1下 ことハリ(理) 1下 さハかせ(駭)
 2 候ハん 4 2下 すなはち 1 1下 たまは(給) 8 10下 ちかハ
 せ(違) 1下 つかはされ(遣) 2下 とハせ(問) 2 1下 のたま
 は 1 5下 は(母) 2 5下 ましハリ(交) 2下 まはり(回) 1
 めしつかハせ 3 わらハ(妻) 1 (な)お、あちわひ(味) 1
 いわ(岩) 2下 いわく(云) 1 いわや(岩屋) 1下 おわしま
 す 3 かわ(皮) 1下 かわかみ(川上) 1 1下 さわり(障) 2
 つわる 1 とわせ(問) 2 のたまわく 1 ましわり 1下

あちわひ(味)1 うしなひ3 うたかひ1 うらなひ1 を
 こなひ(行)1 下 をひ(生)1 下 おもひ5 9 下 こよひ(今宵)
 1 たくひ(類)1 たとひ(仮令)1 たまひ(給)15 17 下
 ちかひ(普)3 下 つきそひ(付添)1 下 とひ(間)1 下 ねかひ
 (願)1 のたまひ4 下 ひろひ(拾)1 下 むかひ(迎)1 下 申
 しあひ(合)1 下 よりあひ(寄合)1 下 わつらひ(煩)1
 わらひ(笑)3 (なお、うしない)4 2 下 をいたて(追立)1 下
 くるい(狂)1 下 したかい(従)1 下 そい(添)1 下 ちかい(違)
 1 下 とい(間)2 下 ひたい(額)1 下 ひろい(拾)1 下 下
 しくい(虫喰)1 下 やまい(病)1 下 わらいけり(笑)1 下 下
 かる(迎)1 下
 いふ(云)2 1 下 おもふ2 1 下 かなふ(叶)1 下 けふ(今日)
 1 3 下 さふらふ1 上らふ(上薦)1 下 給ふ28 36 下 つかふまつ
 る1 下 の給ふ3 下 中ふ(へタ)1 (なお、つかうまつる1、
 いにしへ)1 下 うへ(上)1 下 おさへて(押)1 下 をしへ(教)
 1 下 をみなへし1 下 かぞへ(数)3 下 かへ(変)1 27 下 かへ
 し(帰)1 下 かへり(へ)2 2 下 候へ2 1 下 ぞへて(添)1 下
 たかへ(違)1 下 たとへん(譬)1 下 つかへ(仕)1 下 とりあ
 へす(堪)1 3 下 のたまへ2 6 下 はからへ(計)1 下 ひとへに
 (偏)1 下 まへ(前)3 2 下 (なお、ひとえに(偏)1 下 いえ
 (家)1 1 下 うゑ(上)2 下 きこゑ(聞)1 2 下 とゑ(重)2 下
)
 おほきに(大)1 下 おほせ(仰)8 2 下 1 おほせ(果)1 下 か

ほ(類)2 こほり(郡)1 下 しほる(葦)3 下 せつほう(説
 法)5 下 ふつほう(仏法)2 下 あほのきさま(仰様)1 下
 (なお、いとおしや1 おく(多)1 下 いとをしく1 下 さを
 (禱)1 下 とをる(通)1 下 なを(猶)1 下 なをし(直衣)1 下
 おうかみ(娘)1 下 おうきに(大)1 1 下)
 cf.
 すはり(坐)1 下
 あるひハ(或)3 下 三たひ(三体)1 (語中口、イ表記正例
 73 11 33 40 下、和語例10 18 下、イ表記正例6 11 3 3 下、「くらる(位
)」1 下、牛をイに誤れるもの1 1 1 下、「うい(有為)1 下 1 1 下)
 かむむりて(蒙)1 下 けふやう(孝養)1 下 まふけのみみ(儲
 君)1 (正表記例については、上記(2)(3)(4)参照)
 おほへ(覚)1 下 きへ(消)1 下 きこへ(聞)1 下 たへ(絶)
 1 下 見へい 下 すへ(据)2 下 ゆへ(故)2 下 (語中口、エ
 表記正例6 11 下「おほえ(覚)3 1 下「見え3 1 1 下、エ表記正例3
 1 1 下「こゑ(声)1 下「すゑ(末)2 1 1 下)
 (6) 語頭の [i] [je] [wo] の表記
 なミいたり(並居)1 (イ表記正例 93 11 51 42 下、和語例 93 11、
 下表記正例なし)
 ぞた(枝)1 下 御ゑん(御椽)1 下 まゑん(魔縁)1 (エ表
 記正例 1 1 1 下「もちえざる(持得)1 1 1 下、エ表記正例 1 1 1 下「え
 こく(楨園)1 1 1 下)
 おうきに(大)2 1 下 おき(置)1 下 おさへて(押)1 下 おそ

③ 「しづか」

(1) 四つ仮名の表記

く(運) 1下 およろしき53下 おちつかん(落着) 1下 おと(音) 1下 おとす(落) 2下 おとす(脅) 1下 おとなし(音無) 1下 おとなしき3下 おなしく(同) 1下 おに(鬼) 1下 おハします119下 おはり(終) 2下 おほえ(覚) 4下 おほし(思) 614下 おほせ(仰) 82下 おほせ(果) 1下 おもて(面) 2 おもふ78下 おもむき(趣・赴) 2下 おや(親) 1 およそ(凡) 1 およほし(及) 2 おろか(疎) 2 おろさせ(下) 1下 くわんぶん(観音) 31下 あんぶん(安穩) 1 おかミ(拜) 1下 おけ(桶) 3下 おさあい(幼) 1下 おさなく(ッ) 1下 おさめ(収) 1下 おち(伯父) 1下 おみなへし1下 おりふしー おれ(折) 1下 きおん(祇園) 6下 くちおし(口惜) 1下
 をし(敬) 2 をりて(折) 1 をりて(居) 1下 をいたて(追立) 1下 をきあかり(起上) 1下 をきて(置) 27下 をこない(行) 1下 をしこむ(押込) 1下 をの(各々) 21下 をひ(生) 1下 をろか(疎) 1下 くわんをん(観音) 1

あしろ(網代) 1 いしん(偉人?) 1 いつもし(五文字) 1 かいしやう(海上) 1 けんしやう(玄奘) 1 しこく(時刻) 1 ししやう(自性) 1 しやいん(邪淫) 2 しやうす(上手) 4 しやうちう(常住) 1 しやうと(浄土) 1

しゆかい(受戒) 1 しゆかい(授戒) 1 しゆつ(術) 1 しよし(諸寺) 1 大し(大慈) 1 ちやうとうし(寺) 1 つし(辻々) 1 ていしやう(庭上) 1 なしみ(馴染) 2 なふしう(納受) 1 はしめて9 ひしり(聖) 2 ふし(富士) 1 へんし(片時) 1 ほうしやうし(法成寺) 1 むけん大しやう(無間大城) 1 むしやう(無上) 1 むしやう(無常) 2 めいしん(名人) 1 もんし(文字) 1 りんし(臨時) 1 れいしん(伶人) 1 うしやう(有情) 1 てんしやう(天長) 1 (補)をなし(同) 3 かんしゆまんしん(干珠満珠) 1 かんせうしやう(菅丞相) 2 くしやうしん(俱生神) 1 けしやう(勸賞) 1 けんし(源氏) 7 すさましさー せんし(禪師・or前司?) 大しんくう(大神宮) 1 ちうしやう(中将) 3 てんしん(天神) 1 はうしやう(放生会) 2 りうしん(竜神) 1 わうし(王子) 1 うち(氏) 1 うち(宇治) 1 かちはら(梶原) 20 御ちやう(御錠) 2 こうち(小路) 1 しやうちう(常住) 1 しやくちやう(錫杖) 1 ちうにん(住人) 1 なんち(汝) 1 はち(恥) 2 ふちハラ(藤原) 1 むそち(六十) 1 もみち 2 やみち(間路) 2 ゆめち(夢路) 1 ゆふちよ(遊女) 2 (補)ちしん(地神) 1 へいち(平地) 1 かす(敷) 3 しやうす(上手) 4 す(鈴) 1 すしう(涼) 1 あつけ(預) 1 いたつらに(徒) 1 いつ(出) 4 かつ(

伊豆) 1 かつかた) 1 かつく(何処) 2 かつみ(泉) 1
 いづれ) 3 をのつから) 1 さかつき(酒杯) 1 さつけ(授)
 1 さ(つり(囀) 1 しつ(倭文) 6 しつか(静) 73 し
 つまりぬ(静) 1 しつみ(沈) 1 そうつ(僧都) 3 たつ
 ね(尋) 10 つく(統) 2 つみ(鼓) 2 とりはつした
 る(取外) 1 はつかし) 3 まつ(先) 2 みつ(水) 1 ミ
 つから) 7 めつらしからぬ) 1

(2) 開合の表記

あふ(感動詞) 1 あふき(興義) 2 ーしやうかい(一生涯
) 2 ーちやう(一椀) 1 ゐんやう(陰陽) 1 うたふた(一
 語) 2 ーしやう(有情) 2 ぶかう(回向) 2 かいきやう
 (戒經) 1 かいしやう(海上) 1 かうけ(豪家) 3 かう
 てき(強敵) 1 かんせうしやう(菅丞相) 2 きちやう(几
 帳) 3 くきやう(公卿) 2 くしやうしん(俱生神) 1 く
 はいらう(回廊) 1 くはう(公方) 1 けかう(下向) 2
 けしやう(勸賞) 1 下らふ(下藪) 1 けんしやう(玄奘)
 1 こくわう(國王) 1 五しやう(五障) 1 御ちやう(御
 説) 5 さう(左右) 3 さう(候) 1 さふらハ(々) 4
 さふらふ) 8 さうもく(草木) 1 さんさう(三蔵) 2 しき
 さう(色相) 2 ししやう(自性) 1 しやう(賞) 1 しや
 う(情、性?) 1 しやうけう(聖教) 2 しやうこ(鉦鼓
) 1 しやうし(生死) 1 しやうし(城市) 1 しやうじ(一
 請) 1 しやうく(生々) 2 しやうす(上手) 4 しやう

そく(装束) 1 しやうちう(常住) 1 しやうと(浄土) 1
 しやうねん(生年) 1 しやうはり(浄瑠璃) 1 しやうめん
 (正面) 1 しやうらうひやうし(生老病死) 1 上らふ(上
 藪) 1 せしやう(七生) 1 しゆしやう(衆生) 2 しらひ
 やうし(白拍子) 1 しんなんふ(親王?) 1 しんわう(親王
) 2 すきらふ(透廊) 1 せつしやう(殺生) 1 せんしや
 う(前生) 1 せんりやうてん(清凉殿) 1 たいたう(大唐
) 1 大ミヤう(大名) 6 たう(盜) 1 たう(当) 1
 たうにち(当日) 1 たふらい(当来) 1 たふり(道理) 6
 ちうしやう(中将) 2 ちうたう(偷盜) 2 地さう(地蔵)
 1 ちやうもん(聰明) 3 ちやうや(長夜) 1 ちやうりや
 う(張良) 1 つかなふして) 1 ていしやう(庭上) 1 て
 んしやう(尹上) 1 てんしやう(天長) 1 てんわう(天皇
) 1 とうはうさく(東方朔) 1 とをたふミ(遠江) 1 と
 うミやう(燈明) 1 とかう(と斯) 1 なふ(感動詞) 3
 なふしう(納受) 1 にちくわつしやう(日月星) 1 によう
 ほう(女房) 6 ほうくはん(判官) 3 ほうしやうぶ(放生
 会) 2 ほうたい(放題) 1 はふて(奪) 1 ひしやう(非
 情) 1 ひやうし(拍子) 5 ひやくしやう(百姓) 1 ふか
 ふして(深) 2 へいさう(平三) 1 へいほう(兵法) 1
 ほうしやうし(法成寺) 1 ほつしやう(法性) 1 またふし
 て(全) 1 まふけて(設) 1 まふこ(妄語) 3 まふしや
 うくん(孟管君) 1 まふたりける(舞) 1 まふねん(妄念)

(一) 御きやう(御経)一 御たう(御堂)一 みやうしう(明州)一 みやうせん(名詮)一 むけん大しやう(無間大城)一 むしやう(無上)一 むしやう(無常)二 むみやう(無明)一 ーやう(様)一 3 やうきひ(楊貴妃)一 六たう(六道)一 わう(王)一 わうし(王子)一 わうてう(王朝)一 わかふ(和合)一 (補)くらふして(暗)一 たいしやう(大将)三 八十よちやう(八十余町)一 (なお、かいきやう(戒教)一 かくしやう(学匠)一) ーいとうないしんわう(伊登内親王)一 をほうして(多)一 きのふ(昨日)四 きようお(饗応)一 きよくろう(玉楼)一 くとう(工藤)一 くハむとう(関東)三 くんこう(勲功)二 こう(業)一 こうくハひ(後悔)一 こうち(小路)一 こうにん(弘仁)一 さいこう(罪業)一 ーやうつ(僧都)一 ーやうへう(宗廟)一 てんへうしやうほん(天平勝宅)一 とうかく(等覚)一 とうくう(東宮)一 とうさん(登山)一 とうし(同)二 とをたふミ(遠江)一 とうと(擬声語…波の音)一 とうとく(同得)一 とうによ(童女)一 とうはうさく(東方朔)一 とうみやう(燈明)一 によ(法)一 ほうさん(宝算)一 ほうし(報)一 ほうしよ(奉書)四 ほうしやうし(法成寺)一 ほうろく(俸禄)三 ようい(用意)一 よろこふて(喜)一 ろふ月(臘月)一 ろふもん(様門)一 (補) おふうち(大内)一 (なお、

きやくろう(逆浪)一 きようお(饗応)一 三こう(三更)一 ちようてき(朝敵)二 へうよう(飄飄か)一 ほうしや(房舎)一) いてう(異朝)一 かせう(迦葉)一 かねうひんか(迦陵頻伽)二 かんせうしやう(菅丞相)二 けふ(今日)五 御れう(御寮)三 しやうけう(聖教)二 せうけん(召見)一 せうし(笑止)一 せうしやう(少将)一 ーやうへう(宗廟)一 てふ(朝)一 ーてう(桀)三 ーてう(帖)一 てうふく(調伏)一 へうよう(飄飄)一 めう(妙)一 よかりつへう(可良)一 わうてう(王朝)一 わてう(和朝)一 (なお、しゆせう(殊勝)一 ーやう(訴訟)一 てんへう(天平)一 へう(龍)二) (3) 山連母音・拗長音の表記 一ちう(一登)一 いふ(云)七 いふて(ッ)一 くハきう(蝸牛)一 しうたん(悠嘆)二 すしう(涼)一 ちう(宙)一 てんりう(天龍)一 ふりうもんし(不立文字)一 みやうしう(明州)一 めしうと(四人)一 よもきう(蓬生)一 ーりうさ(流砂)一 ーりうしん(龍神)一 ーりうてい(流涕)一 (なお、きんちう(禁中)一 くハひちう(懐中)一 御しちう(御所中)五 さんしう(三従)一 しう(衆)二 しやうちう(常住)一 せんきう(仙宮)一 ちうしやう(中将)二 ちうしん(注進)一 ちうたう(偷盜)二 ちうにん(住人)一 なふしう(納受)二)

(4) (ゆふちよ(遊女)之)

(4) 合拗音の表記

いんくわ(因果) 2 くわうくう(皇后) 1 三くわう(三光) 1 せきくわ(石火) 1 にちくわつしやう(日月星) 1 八くわう(波光) 1 はんくわい(樊噲) 1 らつくわ(落花) 1 くはうてい(皇帝) 2 くはきう(蝸牛) 1 くはひちう(懷中) 1 くはひらう(回廊) 1 くはむとう(閑東) 3 くはん(官) 1 くはんじ(親) 1 くはんむ(桓武) 1 こうくハハ(後悔) 1 はうくはん(判官) 3 わくハハ(和光) 1 (なお、かんせうしやう(菅丞相)之)

(5) 八行転呼音の表記

あハ(合) 3 あらそはん(争) 1 あはたくち(粟田口) 1 あはつ(粟津) 1 あはて(慌) 1 あはれ 3 あらハす 1 いたハしや 4 かつハリ 1 いは(云) 2 いはし水(石清水) 1 いはんや(泥) 1 うけたまハリ 6 おはせし(在) 1 かなハす(叶) 2 かはる(変) 1 きくかハ(菊川) 1 くハしく 1 ことハリ(理) 4 さふらハ(候) 5 そハす(添) 1 たまハ(給) 2 たまハラ(々) 2 つかハし(遣) 1 つハもの(兵) 2 なには(難波) 1 なみうちきハ(波打際) 1 にハかに(俄) 1 ほ(母) 25 は(昂木) 1 ふほのせき(不破の関) 1 ふるまハ(振舞) 1 まハ(舞) 8 まハハ(回) 1 みきハ(汀) 3 やはか(如何でか) 1 よはハる(呼) 3 わさハハ(災) 2

わらハ(童) 1 ありはら(在原) 1 ちははら(梶原)

20 しのハラ(條原) 1 ふちハラ(藤原) 1 やなまはら(柳原) 1 (なお、あわれます(憐) 1 いつわり 1 われ(云) 1 まわり(回) 1 よはわり(呼) 1) あたひ(値) 1 あひ(相) 3 あひた(間) 8 あふひ(葵) 1 いきほひ 1 いひ(云) 10 入りあひ(入相) 2 うしなひ(失) 1 うたひ(謠) 4 うちさふらひ(内侍) 1 うつろひ 1 ぶひ(醉) 2 をひて(追手) 2 思ひ 19 かなひ(叶) 1 かひな(腕) 1 こひ(恋) 1 さかひ(境) 1 さふらひ(候) 1 したひ(慕) 1 たくひ(類) 1 たちぎひ(立添) 1 たとひ(仮令) 7 たましひ(魂) 1 給ひ 17 つかひ(使) 3 つくろひ 1 とをさふらひ(遠侍) 1 とひ(問) 2 とふらひ(訪・弔) 2 とまなひ 1 つたひ(伝) 1 ならひ(習) 6 にほひ(匂) 1 ねらひ 1 ひろひ(拾) 1 まひ(舞) 18 まよひ 1 むかひ 3 めしつかひ 2 ちひ(由比) 2 よひ(宵) 1 よりあひ(奇合) 1 よろほひ(踰取) 1 わさハハ(災) 2 わらひ(笑) (なお、あらい(洗) 1 うれい(愁) 1 返いて(醉) 1 かい(買) 1 かいな(腕) 1 かない(叶) 1 きらい(嫌) 1 こい(請) 3 すくい(掬) 1 た(かい) 2 つかい(使) 1 とい(土肥) 2 ばらい(払) 1 ひたい 2 ゆい(由比) 1 (補) ういかむり(初冠) 2 ちいろ(千尋) 1) あふ(会・合) 4 あふひ(葵) 1 あらふつ(し(可洗)) 1

いはふ(祝)1 いふ(云)7 いふて(ッ)1 うたかふ1
 おふる(生)1 思ふ4 おりふし1 かなふ(叶)2 かふ
 (買)2 きのふ(昨日)4 けふ(今日)5 下らふ(下鵜
)1 こたふ(答)1 こふ(請)1 さやふ(誘)1 さふ
 らひ(候)6 さふらふ(ッ)8 したふ(慕)1 上らふ(上
 鵜)1 たとふれハ(譬)1 たまふ(給)25 とをたふミ
 (遠江)1 ねかふ(願)1 の給ふ2 まふ(舞)1 まよ
 ふ1 (補) うたふた(謠)2 さやふて(誘)1 はふて(奪
)1 まふたりける(舞)1 まふて(ッ)1 (なお、
 さう(候)2 とう(問)1 よう(酔)1 よもきう(蓬生
)1)
 いは(祝)1 い(家)1 いへ(云)3 うへ(上)
 6 をさへ(押)2 をし(教)4 おとろへ1 思へ5
 かへし(返)2 かへつて(却)1 かへて(代)2 かへり
 (帰)2 かへりみず(顧)1 くつかへさん(覆)1 くり
 かへし2 こたへ(答)2 さなへ(早苗)1 候へ6 1 さ
 へ1 さへつり(囀)1 したかへ(従)2 しろたへ(白妙
)1 ぞろへ(揃)1 たとへ(仮令)1 たとへん(譬)2
 たへ(堪)1 たまへ(給)15 つたへ(伝)1 となへ(説
)1 とりぞへ(取添)2 まへ(前)3 まよへ(迷)1
 よそへ(寄)1 よみかへり1 (補) うれへ(愁)1 (な
 お、こゝのえ(九重)1 たえ(堪)4 まへえ(前へ、こ
 えは格助詞)1 いえ(家々)1 ゆくえ(行方)3)

いきほひ1 おほき(多)7 おほ御しよ(大御所)1 おほ
 せ(仰)12 おほつ(大津)1 かほ(顔)5 こほり(郡)
 1 しほり(菴)1 にほひ(匂)1 (なお、おとをり(御
 通)1 とをく(遠)2 とをさふらひ(遠侍)1 とをた
 ふミ(遠江)1 とを山とり(遠山鳥)1 なを(猶)7 な
 をし(直衣)1 なをらせ(直)1 もよをして3 よこをる
 (横)1 おうきに(大)1 おふうち(大内)1)
 呼
 あハ(泡)1 (えらわれて(撰)1)
 あひし(愛)2 あひたる(空)1 あひねん(愛念)1 あ
 るひハ(或)2 いせひ(威勢)2 ゑひじ(詠)3 ゑひせ
 ん(穎川)1 きひて(聞)1 くゑひ(愚詠)1 しかひ(死
 骸)1 しさひ(子細)1 しゆほたひ(須菩提)1 たい
 なひ(体内or胎内)3 たひれい(台嶺)1 つひて(付)1
 とりつひて(取付)1 なひゑん(内援か)1 ろかひ(繪權
)1 さめかひ(醒ヶ井)1 たるひ(垂井)1 (補) によら
 ひ(如来)1 くれなひ(紅)1 (語中口、イ表記正例107 11
 和語例8「あるまじい」「きいて(聞)5」「すがりついて
 1」「ふかい(深)1」「井表記正例111」「くもる(雲居)
 1」「井をイに誤れるもの1611」「うい(有為)1」「まいり
 (参)1511)
 あふき(艱義)2 くらふして(暗)1 すきらふ(透廊)1
 たふらい(当来)1 たふり(道理)5 つかふして(恙

(6) 語頭の [i] [e] [o] の表記

い^xかい (遺誠) ー いしん (偉人 or 威信?) ー いせひ (威勢)

う^xたり (居) ー いん (院) ー (イ表記正例 224 和語)

例 213 ー 井表記正例 2 ー ゐん (院) ー ゐんやう (陰陽)

ゑ^xと (江戸) ー ゑひ (詠) ー ゑひせん (穎川) ー ゑほし (鳥帽子) ー ゑん (宴) ー ゑん (縁) ー きゑん (機縁)

無) ー てふ (朝) ー なふしう (納受) ー なふて (無) ー のふ (能) ー ふかふして (深) ー ほふろく (俸禄) ー たふして (全) ー まふけて (設) ー まふこ (妄語) ー ふしやうくん (孟嘗君) ー まふねん (妄念) ー めてたふて ー ゆふかん (有閑) ー ゆふちよ (遊女) ー ろふもん (樺門) ー わてふ (和朝) ー きこふる (聞) ー さかふ (榮) ー (正表記例については、上記(2)(3)(4)参照)

こ^xろ (心得) ー さか (榮) ー もたへ (調) ー 六はらこ (六波羅越) ー うへし (植) ー ちへ (智慧)

ゆ^xへ (故) ー (語中 [e]、エ表記正例 19 ー 心之 (心得) ー おほえ (覚) ー きえ (消) ー きこえ (聞) ー こえ (越) ー ふえ (笛) ー 見え 3 ー エ表記正例 17 ー かけすゑ (景季) ー こゑ (声) ー こんゑ (近衛) ー すゑ (末) ー なひゑん (内援か) ー あほかりきぬ (青狩衣) ー あほけれと (青) ー しほりはき (撓菰) ー

く^xゑひ (愚詠) ー (エ表記正例 2 ー えんま (閻魔) ー きえむ (機縁) ー エ表記正例 12 ー ゑあはせ (絵合) ー ゑかう (回向) ー ゑしん (恵心) ー ゑのきてら (根寺) ー ゑひて (酔) ー ゑミ (笑) ー ゑらわ (撰) ー なひゑん (内援か) ー おうきに (大) ー おそれ (恐) ー おつ (落 or 怖?) ー おと (大臣) ー おとり (劣) ー おなり (同) ー おに (鬼) ー おはせ (在) ー おふる (生) ー おほうして (多) ー おほえ (覚) ー おほき (多) ー おほ御しよ (大御所) ー おほしめさるゝ ー おほせ (仰) ー おほつ (大津) ー おもかけ (面影) ー おもき (重) ー おもしろや ー おもへ (思) ー おもむく (赴) ー おや (親) ー おり (下) ー おろし (下) ー ときおかせ (説置) ー おとろへ (哀) ー おかみ (拝) ー おめき (喚) ー おり (折) ー おりぶし 3

をかさぬ (犯) ー をかみ (拝) ー をさきむま (驢馬) ー をさまり (収) ー をしからん (惜) ー をしへ (教) ー をしまぬ (惜) ー をたまき (芋環) ー をつと (天) ー をとる (踊) ー をは (伯母 or 叔母) ー をミ (小忌) ー をめき (喚) ー をやま (小山) ー をんな 17 ー こしをれ (腰折) ー ぞさのを (須佐之男) ー はまをき (浜萩) ー みをつく ー をき (沖) ー をき (置) ー をさへ (押) ー をし (ク) ー をぞし (遅) ー をつ (く) (追付) ー をつる (落) ー

をと(音) をとさる(落) 2 すとろかす(驚) 1 をなし
 (同) 3 をのつから 1 をのれと(自然と) 1 をひ(帯)
 2 をひて(追手) 2 をほえ(覚) 2 をも(面) 1 をも
 き(重) 1 をもむく(赴) 1 をや(親) 1 をよはす(及
) 3 をろか(愚) 1 をろさる(下) 1 をんしゆ(飲酒
) 4 大をん(大音) 2

(続稿)
 鹿見島大学講師

飯倉洋一	高山倫明
稲川順一	田坂憲二
大木桃子	田中潤子
大橋百合子	中條順子
小野望	中原豊
柏原卓	中村萬里
上村朗子	樋田良照
辛島正雄	野口義廣
木部暢子	花田俊典
国生雅子	花田富夫
坂口至	福井迪子
崎村弘文	望月正道
白石良夫	矢野準
園田豊	山県浩
高橋敬一	

会 員